

第2期精華町地域創生戦略(素案)パブリック・コメント意見対応表

該当箇所	意見要旨等	意見に対する考え方
<p>p10 3-2 豊かな自然環境を活かした関係人口や交流人口の拡大</p>	<p>精華町には、田畑が多くあり、専業農家だけでなく、家庭菜園の延長として田畑で作物を育てている人も少なからずいる。消費者としては、安くて新鮮な野菜であれば、虫が付いていてもきれいでも構わないと思う人も多数いるはずである。</p> <p>そこで、生産者と消費者をつなぐ方法を2種類提案する。</p> <p>1つ目は、田舎で時々見かける風景であるが、道端に設置された台に野菜が置いてあり、消費者は決められた金額を箱に入れて野菜を持って帰るといふ、無人の野菜販売である。</p> <p>2つ目は、一見さんでも面倒な手続きなく、野菜を持ち込めるような、野菜販売所を作ることである。</p> <p>また、消費者が足を向けるためにも近くにスーパーが無い北部地域での商業施設立地も大切な要素だと思われる。</p>	<p>生産者と消費者をつなぐ地元農産物の販売に関するご提案については、「基本目標4 4-3地元産品の販売力向上と販路拡大」の中に含むものとしています。現在、野菜などの農産物を販売している直売所などがありますが、頂いたご意見も今後の参考にさせていただきますと考えています。</p> <p>また、スーパーの設置については、具体的施策の中に盛り込む事は困難ですが、町北部地域のまちづくりに対する貴重なご意見として参考にさせていただきますと考えています。</p>
<p>p10 3-3 京都府や関係機関等の連携によるスマートシティモデルの推進</p>	<p>現在、精華町の一部の地域では高齢化が進んでおり、運転免許証の返納を考えている人も多数いると思われる。</p> <p>その中で、町北部地域にはスーパーがなく、日々の買い物での必要性から、運転免許証を返納できない人が少なからず存在する。</p> <p>そこで、主婦を運転者のターゲットにした安価に利用できる乗合のスーパー送迎サービスを提案する。</p>	<p>今後は人口減少に転じていくと見込まれるなかで、いかに持続可能なまちづくりを進めるかが大きな課題となっております。</p> <p>買い物送迎サービスについては、町内商業施設による送迎サービスを提供されているところもあり、民間企業による利便性向上も図られているところです。ご提案の一般住民のみなさまによる有償サービスとして提供する場合、法令等による制限など乗り越えるべき課題があると考えておりますが、今後の高齢化社会に対応するアイデアの一例として参考にさせていただきますと考えています。</p>

第2期精華町地域創生戦略(素案)パブリック・コメント意見対応表

<p>p13～p14 4-3 地元産品の販売力向上と販路拡大 4-4 新たな特産品などの開発販売</p>	<p>現在、人々の関心のキーワードは、「体験」や「インスタ映え」であると思われる。SNSの宣伝費用は¥0である上に効果は大きい。 よって、精華町でのいちご狩りと同時に、自分で収穫したいちごを使ってのスイーツ作り体験を企画し、作品をインスタ映えするものにする事によって、話題となることを狙ってはどうかと考える。「スイーツタウン精華町」としてのアピールにもつながると思われる。</p>	<p>現在、町公式インスタグラムにより町の観光資源であるいちご狩りの紹介や、町内スイーツ店情報など町の魅力発信ツールの一つとして活用しています。また、いちご園にインスタスポットを設け一般の方々に情報発信いただくなど効果があらわれています。 いちごを使ったスイーツ作り体験などは、農産物の加工研究を行っている「華工房」において体験教室を実施しておりますが、町としましても頂いたご意見の趣旨のとおりと考えており、「4-3 地元産品の販売力向上と販路拡大」の中において、以下のとおり参加者にも町の魅力を発信いただけるような文言を追加し、引き続き地元産品の振興策を進めたいと考えています。 (追加箇所) P13 4-3 地元産品の販売力向上と販路拡大 (追加内容) 「・首都圏などの新たな販売ルート開拓による特産加工品の販路拡大」の次に、「・SNSを活用した体験型観光農業の推進」を追加</p>
<p>p16 5-1 ツアー・オブ・ジャパン 京都ステージなどを契機とした関係人口や交流人口の拡大</p>	<p>ツアー・オブ・ジャパンという国際的に大きな大会が精華町で開催されているにも関わらず、知名度は低い。 そこで、精華町に自転車のプロ選手を育成するスポーツクラブを作ったらどうかと考える。 希少な「自転車専門のスポーツクラブ」が精華町にあるというだけでも、精華町を「自転車の町」として、全国に向けてPRすることにもなる上、そこからスター選手が誕生すれば自転車競技、ひいては、ツアー・オブ・ジャパンが盛り上がっていくと考える。</p>	<p>国際的な自転車レースであるツアー・オブ・ジャパン京都ステージ(精華町・京田辺市)では約5万人がこの地を訪れる大きなイベントであり、町のPRの場としていますが、来訪される自転車愛好家などと地域の交流が課題となっています。 ご提案いただいた自転車のプロ選手を育成するスポーツクラブも町のPRに有効と考えられますが、まずは町に訪れる自転車愛好家と地域住民とが交流できる環境づくりを進めたいと考えています。</p>